



Boot Device が見つからない場合に、システムが無限に
Boot を繰り返さないように変更されました -
BladeCenter and System x

お願い

ここに記載されている情報とそれに対応する製品をご使用になる前に、＜当ガイドをご利用になる前に＞の事項を必ずご確認ください。

当ガイドをご利用になる前に

当内容は、お客様、販売店様、その他関係者が、System x, Flex Systemなどを活用することを目的として作成しました。詳細につきましては、URL (<http://www.lenovo.com/legal/jp/ja/>)の利用条件をご参照ください。

当技術資料に含まれるレノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社 および Lenovo Enterprise Solutions（以下総称して、LES）以外の製品に関する情報は、各提供ベンダーより提供されたものであり、LES はその正確性または完全性についてはいかなる責任も負いません。

当技術資料の個々の項目は、LESにて検証されていますが、お客様の環境において全く同一または同様な結果が得られる保証はありません。お客様の環境、その他の要因によって異なる場合があります。お客様自身の環境にこれらの技術を適用される場合は、お客様自身の責任と費用において行なってくださいますようお願いいたします。

Copyright 2015 レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ株式会社

ソース

RETAIN tip: H204254

症候

2013年度第4四半期にリリースされたUnified Extensible Firmware Interface (UEFI)ファームウェアが搭載された、既存IBM x86ベース製品および新規製品において、Boot Deviceが見つからない場合のデフォルトのBootの動作処理が変更されました。

新しい動作では、Power On Self Tests (POST)/search/restartsが50回続いた後に、起動可能なブートデバイスがないというメッセージを表示したのち、サーバーの電源をオフにします。

以前のUEFIバージョンにおいては、無制限にPOST/search/restart処理が実行されていました。

この新しい動作についてのenable, disable設定はUEFIにあります。

どのUEFIのバージョンから動作が変更されたかについては、各製品のUEFIの変更履歴をご参照ください。

もしUEFI変更履歴に記載がない場合は、製品リリース時点から新しい動作をするということです。

影響のある構成

BladeCenter HS23, type 1929, any model
BladeCenter HS23, type 7875, any model
BladeCenter HS23E, type 8038, any model
BladeCenter HS23E, type 8039, any model
BladeCenter HX5, type 1909, any model
BladeCenter HX5, type 7872, any model
BladeCenter HX5, type 7873, any model
System x3100 M4, type 2582, any model
System x3250 M4, type 2583, any model
System x3300 M4, type 7382, any model
System x3500 M4, type 7383, any model
System x3530 M4, type 7160, any model
System x3550 M4, type 5459, any model
System x3550 M4, type 7914, any model
System x3630 M4, type 7158, any model
System x3650 M4 BD, type 5466, any model
System x3650 M4 HD, type 5460, any model
System x3650 M4, type 7915, any model
System x3690 X5, type 7147, any model
System x3690 X5, type 7148, any model
System x3690 X5, type 7149, any model
System x3690 X5, type 7192, any model
System x3750 M4, type 8722, any model
System x3750 M4, type 8733, any model
System x3850 X5, type 7143, any model
System x3850 X5, type 7145, any model
System x3850 X5, type 7146, any model
System x3850 X5, type 7191, any model
System x3950 X5, type 7143, any model
System x3950 X5, type 7145, any model
iDataPlex dx360 M4 2U chassis, type 7913, any model
iDataPlex dx360 M4 server, type 7912, any model

このTIPはソフトウェアに特定のものではありません。

このTIPはオプションに特定のものではありません。

回避方法

不要なリスタートがもたらす過度の消費を避けるために、ブート可能なデバイスがない場合は、システムをパワーオフしてください。

ブートデバイスが有効であるときにシステムをリスタートしてください。

無制限にPOST/search/restart処理が実行されることを回避する設定(Disable)を行ったり、現在の設定を確認するためには、uEFIで以下の操作を行います。

- 1.電源投入後、POSTでF1キーを入力してuEFIを起動し“System Configuration and Boot Management”画面を表示します。
- 2.表示されるメニューより“System Settings”を選択しエンターキーを入力します。
- 3.表示されるメニューより“Legacy Support”を選択しエンターキーを入力します。
- 4.表示されるメニューより“Infinite Boot Retry”を選択しエンターキーを入力します。
- 5.設定値を確認します。必要に応じて、“Disable”を選択しエンターキーを入力します。
- 6.ESCキーを2回入力し“System Configuration and Boot Management”画面を表示します。
- 7.表示されるメニューより“Save Settings”を選択しエンターキーを入力します。
- 8.“Exit Setup”を選択しエンターキーを入力します。
- 9..Setup Utilityを終了するのでYキーを入力します。

追加情報

この変更はシステムコンポーネントの不要な消費を軽減させるものです。

特に IBM System x3850 X5 と x3690 X5 サーバーは、上述の過度なリスタートによる消費の影響をより受けやすくなります。チップセットの仕様により、リスタート時には DC 電源サイクルを行うためです。システムボードは DC 電源サイクルの度に熱的な負荷を受けます。